

月待ち信仰の山 秋山二十六夜山

実施日 2013年9月22日(日)

天候 晴れ

リーダー 一柳 昭

S L 石原勝正

参加者 若村貴世子、齋恵美子、若村勝昭、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、小村井好枝、石附智江、伊藤久雄、石原勝正、関塚七海、小名秀鋭、熊本沙江子、瀧澤きよの 計14名

費用 高尾駅⇒上野原駅 320円

上野原駅⇒浜沢 840円

下尾崎⇒上野原駅 790円

上野原駅⇒高尾駅 320円

費用合計 2,270円

タイム 高尾駅(7:35~7:46)上野原駅(8:08~8:28)浜沢BS(9:13~9:30)あずまや(10:07~10:15)明星平(11:08)秋山二十六夜山(11:50~12:50昼食)下尾崎BS(14:03~14:46)上野原駅(15:29~15:41)

バスを降りたら若村貴世子さんがバス停留所のすぐそばにある名物の饅頭を買おうと提案した。私も知っていたが下見に来たときは平日だったので閉店しており買えなかったのを思い出し早速「つるや」の「王の入りまんじゅう」を買うために列に並ぶ。既に購入して食べている人に味噌饅頭を勧められた。みんなの注文を聞いて味噌と餡を7個ずつ買い早速



食べる。中の餡はあっさりしていて甘すぎず、皮はふかふか、大きさは普通の三倍位あり1個でお腹がきつくなる。

キャンプ場の中を歩いて行くと別荘が沢山建っている。この秋山地区(旧秋山村)は夜空の透明度が日本一といわれ、

それを求めてか付近には別荘が多い。登



山口から植林の尾根上をいきなり一本調子の急登が続くがしばらくすると傾斜が緩くなり雑木林の中を進む。

明星平の少し手前の高台からの三ッ峠山、滝子山、奥多摩方面などの展望が素晴らしい。

秋山二十六夜山の山頂付近には二十六夜塔がまつられ、かつての月待ち行事が偲ばれる。



【山名の由来】

山名の二十六夜は平安時代から行われた月待ち行事にちなむ。特定の月齢に日に、近隣知友が月の出を待ちながら供物を供えて飲食をともにし、月を拝むと幸運を得ると言われた。十三夜、十五夜、二十三夜などがあるが、二十六夜は陰暦1月(現在の3月)と7月(現在の9月)の26日の夜半に行われ、月光に阿弥陀仏、観音、勢至の三尊が姿を現すといひ伝えられる。



下尾崎への下りは台風の影響で沢山の枝が飛散しており歩きづらいため時間をかけて下った。

当初の計画では寺下峠を経て梁川駅に出る予定であったが、下見の際に台風の影響による土砂崩れ、倒木、枝の飛散などで危険な箇所が数カ所あったので参加者の了解を得てコースを変更し下尾崎バス停留所からバスで上野原駅に出た。

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明)